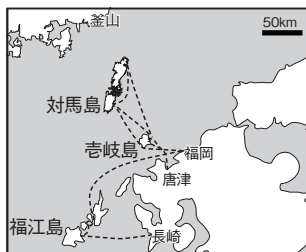


⑤ 対馬島・壱岐島・福江島（長崎県対馬市・壱岐市・五島市）——対馬・壱岐・五島高等学校

## 長崎県だからこそできる 「しま」を生かした教育

長崎県教育庁高校教育課



対馬島・壱岐島・福江島：無人島を含め約600の島々を抱える長崎県。離島振興対策実施地域の有人島51島のうち、福江島・対馬島・壱岐島は、人口で上位1～3位を占める。遣唐使や朝鮮通信使をはじめ古くから大陸との交流拠点となってきたことから、特色のある文化が残る。島の主産業は農林水産業。

### ● 「しま」の特性にもとづく教育事業

長崎県は、対馬、壱岐、五島などの「しま」があり、古くから大陸とのかけ橋、文化交流の拠点として重要な役割を果たしてきました。それぞれの「しま」には、さまざまな歴史や文化があり、美しい自然が残っています。本県では、この豊かな自然や文化など、地域の特性を生かした教育事業として、平成一五年度から「高校生の離島留学制度」を実施し、全国各地から入学生を受け入れています。

この事業の目的は次のとおりです。

・積極的な目的意識や意欲を持った高校生に、「しま」の豊かな自然や文化の中で学習の場を提供する。

・学校活性化の契機とするとともに、地域活力の高揚や地域振興を期する。

### ● 各島の特色を生かしたコース設置による離島留学

#### ① 三校三コースにて離島留学を実施

現在は、しま地区の県立高校三校で実施しています。具体的には、対馬高等学校（対馬島）に「国際文化交流コース」、壱岐高等学校（壱岐島）に「東アジア歴史・中国語コース」、五島高等学校（福江島）に「スポーツコース」を設置し、島外の生徒を「離島留学生」として受け入れています。なお、定員は各コース一学年二〇名程度です。

対馬高校の国際文化交流コースでは、対馬の歴史的・地理的環境を生かし、全国の公立高校で唯一、韓国の言葉や



平成27年に創立110周年を迎えた対馬高校。



吉岐高校は、上海市光明中学校と姉妹校提携している。



石田城（福江城）の城跡内に建つ五島高校。

歴史・文化を専門的に学ぶことができます。また、韓国（釜山）での交流事業や語学研修を実施し、韓国の高校生や大学生との交流を行います。

老岐高校の東アジア歴史・中国語コースでは、一年次は共通の教育課程で学び、二年次から歴史学専攻と中国語専攻に分かれ、歴史学や中国語を専門的に学びます。また、国指定特別史跡である原の辻遺跡での実地体験、国内各地の遺跡などへの巡検、中国（上海）での語学研修などを行

っています。

五島高校のスポーツコースは、陸上・柔道・剣道に興味があり、高校でさらに技能を伸ばしたい生徒や、将来、体育・スポーツの指導者を目指す生徒のために設けられたコースです。スポーツ理論、運動生理学、スポーツ栄養学などを学習し、スポーツに関する見識や理解を深めます。また、各分野の専門家や元オリンピック選手などから直接指導を受けることができます。授業も実施しています。

## ②約三〇〇名の留学生の受け入れ実績

平成一五年度に制度を開始して以来、今年度までの一四年度間に五九八名がこのコースに入学しています。そのうち離島留学生は、県内から一九二名、県外から一〇四名の合計二九六名にのぼります。

対馬高校、壱岐高校では、親元を離れた生徒でも安心して暮らせるよう、親の代わりに世話をしてくれる里親宅へのホームステイ、下宿などを用意しています。費用は月額七万円程度ですが、県と地元自治体から一人当たり月額三万円の助成があるため、留学生側の負担は月四万円程度となります。

五島高校には寮があり、寮費は月額四万五〇〇〇円となっています。

## ③特徴的かつ専門的な授業

離島留学制度を実施している各学校では、コースの特徴を生かした授業を多く行っています。

対馬高校では、韓国の釜慶<sup>フギョン</sup>大学から韓国人講師を招くとともに、「韓国語Ⅰ」「韓国語Ⅱ」という韓国語の授業をはじめ、「韓国歴史研究」や「韓国文化研究」などの特色ある授業を行っています。

壱岐高校には、中国の上海市教育委員会から中国人講師を招くとともに、「基礎中国語」「中国語会話」「歴史学入門」

「考古学入門」「アジア交流史」などの独自の授業を行っています。

五島高校では、保健体育の授業に加えて「スポーツ理論」「スポーツA」「スポーツB」「スポーツC」という専門の授業があり、栄養学や競技大会の運営方法などについても学ぶことができます。また、世界的に活躍した元選手をスポーツ国際交流員として海外から招聘しています。

## ④自治体による支援で保護者負担を軽減

すでに述べたとおり、対馬高校、壱岐高校では、ホームステイなどに県と地元自治体で一人当たり月額三万円の助成を行っています。加えて、地元市の補助として、対馬市は語学検定受験費用に生徒一人当たり一万円の補助、壱岐市は通学バス費用の補助（バス定期券購入費）を行っています。五島市は、寮費に対する補助はないものの、部活動遠征費として計六〇万円の補助を実施し、保護者負担を軽減しています（いずれも平成二八年度の実績）。

このほか対馬高校では、専任職員を配置し、留学生との面談や下宿訪問を行うなど、留学生の生活をサポートしています。

## ●専門知識の習得と人間力の強化を実現

これまで一二期生から一二期生の留学生が卒業し、彼ら・



韓国の高校生との交流会(対馬高校)。



上海語学研修では、地元の高校から大歓迎された(壱岐高校)。



マリンスポーツ実習のひとつ、カヌーの実習にて(五島高校)。

彼女らの多くがコースで学んだことを生かした進路を選択し、それぞれの分野で活躍しています。

対馬高校の国際文化交流コースや壱岐高校の東アジア歴史・中国語コースからは、これまで韓国や中国の大学に四八名が進学しています。また、国内大学の国際関係や歴史関係の学部に進学したり、企業や公務員への就職の道も開かれています。

五島高校のスポーツコースにおいても、多くの生徒が体育系の大学、医療や体育などを学ぶ専門学校へ進学してい

ます。また、企業や自治体などへ、高校で専門的に学んだことを生かして就職する卒業生もいます。

留学生たちは、中学校卒業後すぐに親元を離れ、下宿や寮で生活を送ります。自己の明確な信念と高い目的意識を持って「しま」へ来ている生徒が多く、自ら考え、意欲的に学習して自分を高め、「生きる力」を身につけていきます。語学や専門的な学習に加え、多様な体験活動や離島の豊かな自然、地域の人々の心の温かさの中で生活することによる情操教育など、高校生としてさまざまなことを学ぶため



の恵まれた環境が、「しま」の中にあります。

### ●対象校が広がる 離島留学制度

近年、離島留学生は増加傾向にあり、今年度の入学者は五三名となりました。ただ、六〇名という定員を充足できてはいない状況です。今後、入学者を継続的に確保するためには、留学生が安心して生活できる環境の整備と、教育内容の魅力化をさらに進めていくことが必要であると考えています。

現在、離島留学制度を実施している対馬高校、壱岐高校、五島高校については、既存の離島留学制度のさらなる充実に向けた検討を進めています。

さらに、平成三〇年度から、奈留高等学校（五島市奈留島）に「イングリッシュ・アイランド・スクール（仮称）」、五

島南高等学校（同市福江島）に「夢トライコース（仮称）」を設置し、離島留学制度の対象校を広げる予定です。「しま」の美しい自然や文化、地域性を生かした教育は、長崎県だからこそできる教育であり、未来を担う子どもたちにすばらしい影響を与えることができるものであると思

### ◆留学生たちの声◆

入学したての頃は、高校生活に慣れるので精一杯でしたが、2カ月ぐらい経つと、勉強もスムーズにできるようになり、楽しくなりました。今では、韓国の方々と触れ合う機会もたくさんあり、充実した日々を送ることができています。そして、韓国語のスピーチ大会などを通して、色々な方の意見をうかがい、助言をしていただけるので、自分に足りないものは何なのかを探していくための大きな経験となっています。

（対馬高校国際文化交流コース2年）

私はアジアの歴史や言語に興味があり、このコースに入学しました。夏休みに行われた上海中国語研修では、中国の文化や歴史に触れることができ、貴重な体験をすることができました。歴史学の授業では、島内の巡検や発掘調査などを通して、壱岐と東アジア諸国とのつながりを知ることができました。地元を離れての生活で大変なことも多いですが、壱岐高校での生活は、将来の夢を叶える良い機会だと思います。

（壱岐高校東アジア歴史・中国語コース2年）

スポーツコースに入学して、私は、仲間の大切さと勉強の重要性を改めて学ぶことができました。自分の住んでいたところとはまったく異なる五島という離島に来て、初めのうちは不安ばかりでしたが、同じく島外から入学してきた先輩方やクラスメイトとともに勉学に励み、運動で汗を流し、時には競い合い、時には助け合うことで、普通のコースでは味わうことのできないさまざまな体験を経験できています。

（五島高校スポーツコース2年）

◆卒業生、卒業生の保護者からみた離島留学◆

娘にも、私たち親にとっても、対馬高校での生活は本当にあっという間で、充実した3年間でした。娘は釜慶大学の語学堂へ進学し、高校生活で習得した語学を活かして夢の実現のために頑張っています。

私が韓国ドラマを見て、韓国語の勉強をしている影響で、娘も韓国に興味を持ち始めました。対馬高校は韓国語を専門的に勉強でき、さらには韓国の大学へも進学ができるという環境だったため、入学を決めたようです。娘にとって、親元を離れての初めての生活でしたが、先生方や里親さんに助けていただいたおかげで、とても充実したものとなりました。

離島留学をお考えの保護者の皆さんは、島での生活に対して心配なこともあるかと思います。しかし、先輩や先生方がきっと助けてくださいますので、未来に向かって頑張ってお送り出してください。(対馬高校卒業生の保護者)



壱岐高校は、私の母校です。テレビの特集で離島留学制度を知り、息子に中学入学時から留学を勧めていましたので、本人も前向きな気持ちで進学することができました。

島には実家があるのですが、あえてそこには子どもを預けず、里親さんのお世話になることにしました。里親さんには、食事のお世話から身の回りのことまで本当によくしていただきました。おかげさまで有意義な高校生活3年間を過ごせたと思います。

先生方の手厚い指導と、東アジア歴史・中国語コースならではの行事と研修。特に上海語学研修は、貴重な体験となりました。息子が自信を持ったのも、希望の大学へ進学できるのも壱岐高校で中国語を学んだおかげです。より多くの方々に壱岐高校の離島留学制度を知ってもらえればと思います。(壱岐高校卒業生の保護者)



県内公立高校唯一のスポーツコースである五島高校普通科スポーツコースには、ここでしか体験できない実習がたくさんあります。例えばマリンスポーツ実習がそのひとつです。カヌー実習や救急救命体験など他の学校や学科では学ぶことのできない知識を身につけることができるのが本コースの最大の魅力だと思います。

私はこのスポーツコースでの経験を経て、日本体育大学に進学しました。高校生活で学んだこと、体験したことが大学の授業(スポーツ実技や体の仕組みの授業など)の中のさまざまな場面で活かされていることを実感しています。

スポーツに少しでも興味のある方は、ぜひオープンスクールなどを利用して五島高校を訪問してください。そして五島の素晴らしさを肌で感じてください。(五島高校卒業生)

います。今後も「しま」の魅力を最大限に活用することで、学力だけでなく、心豊かで健やかな身体と精神を育み、国

際社会で活躍する資質と能力を身につけた若者を育成していきたいと考えています。